

## II 保健予防推進担当

### 1 健康づくり・栄養

健康増進法に基づき、高齢化社会に向けて生活習慣病を予防することで、「健康寿命」の延伸を図ることを目的とする。その実現のため、食生活・運動・休養・喫煙等の生活習慣を見直し、健康づくり・栄養改善を目的として事業を実施した。

#### (1) 健康増進(栄養等)の実施

県民に対して、専門的な栄養指導及び食生活支援を行い、生活習慣病を予防することを目的として実施した。

令和元年度（単位：人）

指導別 対象	個 別		集 団		
	栄 養	禁 煙	栄 養	運 動	禁 煙
乳 幼 児	-	-	-	-	-
20歳未満	-	-	-	-	-
20歳以上	29	0	190	0	0
合 計	29	0	190	0	0

#### (2) 食環境整備事業の実施

地域における食に関する環境を整備するため、給食施設等における栄養改善の向上や栄養管理についての指導及び助言を行った。また、食品製造業者に対して、栄養成分表示の指導を行い、県民に食生活に関する正しい知識や情報を適切に提供した。

##### ア 給食施設指導

令和元年度

	特 定 給食施設	その他の 給食施設	合 計
栄養管理指導（延施設数）	51	73	124
喫食者への栄養・運動指導（延人数）	-	-	-

##### イ 栄養成分表示普及促進事業

令和元年度

対 象	内 容	回数又は店舗数
住民・食品事業者等	栄養成分表示普及・啓発	集団 2回 個別 92件
埼玉県・健康づくり協力店	指定基準指導	0店舗

### (3) 食育・地域栄養活動事業の実施

地域における栄養関係団体等の活動を支援するとともに、地域におけるリーダーの育成及び栄養改善の体制を整備するため、関係団体に対して、質の向上のための研修会を実施した。

その結果、各関係団体とも管内市町の保健事業で積極的に活動している。

#### 栄養関係団体育成事業の実施（令和元年度）

##### 〔研修〕

実施年月日 (会場)	内 容	参加者
令和元年 9月17日 (秩父保健所)	「令和元年度秩父保健所管内給食施設研修会」 (1) 講義：「給食施設の衛生管理について」 講師：秩父保健所 生活衛生・薬事担当職員 (2) 報告講義：「給食施設の栄養管理状況について」 講師：秩父保健所 保健予防推進担当職員	管内給食施設栄養 担当（主に管理栄養 士・栄養士）と施設 管理者等 52人
令和元年 9月26日 (秩父保健所)	「秩父郡市食生活改善推進員リーダー研修会」 講義・実技： 「オーラルフレイルについて～要介護になる前に～」 講師：秩父郡市歯科医師会（倉林歯科クリニック） 倉林 利明 氏（歯科医師） 山岸 志津江 氏（歯科衛生士）	管内食生活改善推 進員連絡協議会、事 務局職員 11人

※ このほか令和2年3月13日に、熊谷保健所、本庄保健所、東松山保健所、社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団嵐山郷との共催で、病院・老人保健施設・老人福祉施設・障害者福祉施設等職員等を対象とした「令和元年度 摂食・嚥下研修会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

##### 〔管内市町食生活改善推進員団体の活動支援〕

対 象 団 体	内 容
長瀨町食生活改善推進員協議会	健康講座・調理実習（11/11、18人） 調理実習献立助言（12/9、2/14）

##### 〔市町村支援〕

実施年月日 (会場)	内 容	参加者
令和2年 2月18日 (秩父保健所)	「令和元年度秩父地域栄養・食育検討会」 議題：栄養・健康づくり・食育事業について その他情報交換	管内市町保健主管課 栄養士、児童福祉主管課 栄養士 6人

令和元年 10月4日 (長瀨町役場)	長瀨町健康増進計画・食育推進計画策定に係る ヒアリング	長瀨町健康福祉課、健康長寿課、秩父保健所 6人
令和元年 5月22日 (歴史文化伝承館)  9月19日 (秩父市役所)	ちちぶ医療協議会食習慣調査担当者会議への出席 (1)平成30年度実施のBDHQまとめ (2)令和元年度の事業について	秩父市地域医療対策課、管内市町保健主管課担当者 8人

#### (4) 地域・職域連携推進事業の実施

##### ア 働く世代の健康づくり支援等健康課題対策支援事業

令和元年度

実施年月日 (会場)	内 容	参加者
令和2年 1月20日 (深谷上柴公民館)	「働く世代の糖尿病重症化予防研修会」 熊谷保健所、本庄保健所、鴻巣保健所との共催 講演：働く世代の糖尿病重症化予防について 講師：埼玉医科大学かわごえクリニック 医学博士 片山 茂裕 氏 事例報告：事業所等における保健指導の実例 報告者：全国健康保険協会埼玉支部 保健師	事業所管理者、事業所健康管理担当者、病院等で保健指導に従事する者、管内保健主管課・保険年金課職員、保健所職員等 44人

##### イ 特定健診受診率向上事業

関係機関の研修や会議で健診受診勧奨を実施した。

##### ウ 効果的な保健指導実施支援事業

令和元年度

実施年月 (会場)	内 容	参加者
令和元年6月 (管内各市町)	管内5市町を訪問して、特定健診・特定保健指導、健康づくり関連事業等の実施状況について確認と情報共有を行った。	管内市町国民健康保険主管課、保健主管課、保健所職員 延22人

##### エ 地域健康長寿情報のPR

保健所ホームページでの健康情報提供。

関係団体へ特定健診受診率向上とがん検診受診率向上PR。

オ 市町村健康長寿のための情報担当者会議

令和元年度

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
①令和元年 9月10日 (深谷上柴公民館)	「データヘルス推進に係る拠点保健所別研修」 熊谷保健所、鴻巣保健所、本庄保健所、埼玉県国民健康保険団体連合会との共催	市町国民健康保険 主管課・保健 主管課職員、保健 所職員、埼玉 県国民健康保険 団体連合会職員 等
②令和元年 12月12日 (国保会館)	①(1)講演：「特定健診受診率向上のポイント」 講師：人間総合科学大学人間科学部 健康栄養学科 教授 奥田 奈賀子 氏 (2)グループ討議：「特定健診受診率向上のポイン ト～実践編～」 助言者：埼玉県立大学保健医療福祉学部 看護学科 関 美雪 氏 ②(1)事例発表：「特定健診受診率向上対策の取組 事例」(宮代町、鴻巣市) (2)グループ討議：「特定健診受診率向上のため の体制整備のポイント～説得 力のある資料づくり～」 助言者：保健事業支援・評価委員会委員 (3)講演：「特定健診受診率向上のための体制整 備のポイント」 講師：合同会社生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏	①39人、②84人

カ 健康長寿サポーター養成に関する支援

実施年月日 (会 場)	対象者	参加者
平成31年4月24日 (秩父保健所)	保健師・管理栄養士臨地 実習生	6名 (保健師実習生)
令和元年5月29日 (秩父保健所)		30名 (保健師・管理栄養士実習生)
令和元年9月27日 (秩父保健所)		3名 (管理栄養士実習生)
令和2年1月27日 (寄居皆野有料道路皆野料金所)	日本ハイウェイサービス 株式会社	8名
令和2年2月4日 (農園ホテル)	秩父旅館業組合	18名

## (5) 受動喫煙防止対策

望まない受動喫煙の防止を図ることを目的とし、平成30年7月に「健康増進法の一部を改正する法律（改正法）」が公布された。この中で当該施設の管理者が講ずるべき措置等が定められたため、各施設が適切に対応できるよう周知を図った。

また、令和元年6月1日に施行された「埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度」に基づき、法律上の義務を上回る受動喫煙防止対策を積極的に推進する施設を認証した。

令和2年4月1日時点で既に営業している小規模な飲食店については、事業の継続に配慮し、経過措置として届出により屋内の全部又は一部の場所に喫煙可能室（飲食可）を設置できることとなっているため、この設置届等の受理も行った。

### ア 埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度による認証件数 令和元年度

区分	施設種別	区分別認証数（件）	
敷地内禁煙	飲食店	11	小計 28
	事業所等	17	
屋内禁煙	飲食店	33	小計 63
	事業所等	30	
合計認証数		91	

### イ 喫煙可能室設置届受理数等 令和元年度（単位：件）

届出種別	受理数	台帳上の施設数
開始届	2	2
変更届	0	0
廃止届	0	0

## 2 母子保健

子どもの心の健康問題や育児不安、虐待リスクのある親を支援するため、健康相談等を実施した。また、地域における母子保健体制のさらなる向上を目的に、連絡会議、研修会、事例検討会を実施した。

### (1) 相談指導の実施

子どもの心の問題を抱える家庭や虐待のおそれのある親子等に対して、訪問指導、面接相談や電話相談を随時実施した。

令和元年度（単位：人）

	妊産婦		乳幼児（含未熟児）		児童・生徒等		その他	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
訪問指導	1	7	1	6	0	0	1	1
面接相談	0	0	4	6	13	19	9	26

◆電話相談 延 140 人

## (2) 療育医療の給付

結核にり患し長期の入院を要する児童に対し、治療と教育を併せて行うために学習用品、日用品及び医療を給付している。令和元年度の承認件数は、0件であった。

## (3) 不妊治療費助成事業助成金の支給

次世代育成支援の一環として、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険の適用外による高額な医療費がかかる配偶者間の特定不妊治療（体外受精治療及び顕微授精治療）及び男性不妊治療（特定不妊治療を行う上で必要とされる精巣内精子生検採取法、精巣上体内精子吸引採取法等）にかかる費用の一部について助成している。令和元年度の男性不妊治療費の助成実績は2件であった。

また、令和元年度に国の回数制限を超えて助成した実績は、9件であった。

[支給件数等]

令和元年度（単位：件）

新規支給件数	秩父市	横瀬町	皆野町	長瀬町	小鹿野町	計
19	54(29)	2(2)	13(7)	0(0)	7(4)	76(42)

注) 新規支給件数以外は延件数で、( ) 内が実件数となっている。

## (4) 子どもの心の健康相談事業の実施

子どもの心の健康問題は複雑で多岐にわたり、保健・医療・福祉・教育などの複数の機関による連携した対応が求められる。子ども達の健全育成を図るため、専門の医師・臨床心理士等による相談や、関係機関との検討会等を実施した。

### ア 子ども心の健康相談

令和元年度

実施回数	月1回（予約制）
相談利用者数	実人数 8人 延人数 11人
相談従事者	医師、臨床心理士、保健師
相談児童の年齢	内訳：小学生以下8人、中学生0人、高校生以上0人
相談者	内訳：本人家族11人、関係機関の職員0人
相談経路	内訳：本人・家族3人、市町村4人、教育関係機関4人
相談内容	不登校、心理的問題、発達の問題など

### イ 子ども心の問題に関する研修会

1市4町教育委員会指導主事、秩父特別支援教諭を対象に研修会を実施した。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 10月23日	秩父特別支援学校主催の「令和元年度学区協議会」との 合同開催  話題提供：「複雑かつ多様な課題を有する母子や家族への 支援 ～地域の体制と課題～」  講師：秩父保健所 保健予防推進担当職員	13人

#### ウ 小児精神保健医療推進連絡会議

管内の医療機関での子どもの心の相談状況について情報交換を行い、ネットワークの構築に向けた検討を行った。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 10月29日	(1)講義：秩父市立病院における子どもの心の相談の2年 間の取り組み 講師：秩父市立病院 小児科部長 加藤 哲司 氏  (2)情報交換 ア 各機関における「子どもの心の相談」の実施状況 報告者：医療法人全和会 つむぎ診療所 副院長 吉川 信一郎 氏  イ 他機関との連携について	市町保健福 祉担当者、保 育士、幼稚 園・小・中学 校教諭等  40人

#### (5) 母子保健連絡調整会議等の開催

地域における母子保健体制のさらなる向上を図ることを目的に、保健所別連絡調整会議を開催し、管内の母子保健の課題について協議するとともに、対応力向上のための研修会を開催した。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 7月3日	「母子保健連携調整会議」 (1)管内市町・保健所の母子保健事業について (2)子育て世代包括支援センターの運営状況について	10人
令和2年 1月30日	研修会 「複雑かつ多様な課題を抱える対象者の理解と支援者のレジ リエンス（ストレスを跳ね返す力）を高めるために」 講師：どんぐり発達クリニック、あいクリニック、駿河台大学 公認心理師・臨床心理士 工藤 剛 氏	16人

### (6) ふれあい親子支援事業の実施

育児不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対して、適切な養育への動機づけ及び心理的安定を図ることを目的に、グループミーティングや個別相談を実施するとともに、関係者とケースカンファレンスを行った。

また、児童虐待予防スキルの向上、児童虐待予防のための連携強化を目的に、市町担当者を対象とした事例検討会を開催した。

令和元年度

グループミーティング	延 2 例
個別面接・相談	延 20 例
ケースカンファレンス	延 8 例

### 児童虐待予防事例検討会

令和元年度

実施年月日	開催市町及び参加者	助言者
令和元年 8月21日 午前	横瀬町 6人	中央児童相談所 市町村支援専門員 萬燈 章雄 氏
8月21日 午後	皆野町、長瀬町 6人	
令和2年 2月5日 午後	秩父市、小鹿野町 19人	

### (7) 妊娠期からの虐待予防強化事業

平成28年度から、県内全ての産婦人科と地域保健機関等が連携することで、妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする家庭を積極的に把握し、訪問支援等を行うことにより、育児不安等の軽減や孤立の防止を図り、児童虐待の予防を図ることを目的に、事業を実施している。当所では、事業が効果的に運用されるよう、関係機関の研修会を実施した。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和2年 2月17日	研修会 (1) 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第15次報告) (2) 講義 「望まない妊娠対策 ～産む選択、産まない選択をした対象者への支援～」 講師：埼玉県助産師会 助産師 桜井 裕子 氏	管内母子保健・児童福祉担当者、管内県立高校養護教諭、特別支援学校教諭 14人

## 3 歯科保健

地域における歯科保健対策として、生涯を通じて歯の健康づくりの推進と保健・医療・福祉と連携した歯科保健事業を推進する。



### (1) 歯科口腔保健連携推進事業

地域における歯科保健関係者、関係機関が連携し、歯科保健事業の在り方を検討することを目的に実施した。

令和元年度

実施年月日 (会場)	内 容	出席者
令和2年 1月30日 (秩父保健所)	講演：「オーラルフレイルについて」 講師：秩父郡市歯科医師会 地域保健部理事 高田 直樹 氏 実習：「口唇閉鎖力測定、口腔水分測定、口臭測定」 講師：倉林歯科クリニック 歯科衛生士 山岸 志津江 氏	秩父郡市歯科医師 会員、管内市町職 員（保健主管課、 高齢介護主管課）、 秩父地域歯科衛生 士会員等 40人

## 4 精神保健福祉

社会環境の多様化に伴い、相談内容も複雑化し、多機関での対応が求められる傾向にある。市町及び関係機関と連携しながら、地域精神保健福祉の向上に努めている。

### (1) 精神保健福祉法による申請及び通報処理の状況

令和元年度（単位：件）

区 分	申請・通報件数	措置入院	措置不要	診察不要
一般人申請	0	0	0	0
警察官通報	19	11	4	4
検察官の通報	1	1	0	0
矯正施設の長の通報	7	0	0	7
計	27	12	4	11

### (2) 相談、訪問指導の実施

令和元年度（単位：人）

面接相談							電話 相談	訪 問 指 導						
実 人 数	延 人 数	主 な 内 訳					延 人 数	実 人 数	延 人 数	主 な 内 訳				
		社 会 復 帰	高 齢 者	・ 薬 物 等	ア ル コ ー ル	思 春 期				そ の 他	受 診 援 助 等	社 会 復 帰	高 齢 者	・ 薬 物 等
67	169	7	2	5	1	154	1,023	32	112	22	4	4	0	82

### (3) 嗜癖問題対策事業の実施

平成15年度から嗜癖問題について「地域住民や関係者への普及啓発」「予防や早期治

療のための地域ネットワークの構築」を目的として事業を展開している。

当所では、平成 18 年度から嗜癖問題の予防及び早期治療のための地域ネットワーク構築を目的に、保健・医療・福祉職員、学校教職員、薬物乱用防止指導員、障害者福祉機関職員等を対象にした研修会等を開催している。（薬物乱用防止指導員研修会との合同研修として実施）

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 11 月 28 日	嗜癖問題対策関係者研修（生活衛生・薬事担当と協働） テーマ：「薬物非行の背景」 講師：さいたま少年鑑別所 地域非行防止調整官 秋田 悠希 氏	42 人

#### （４）精神障害者を地域で支えるシステム構築事業

埼玉県精神障害者を地域で支えるシステム構築事業実施要綱に基づき、精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、安心して充実した生活を送ることができ、併せて精神障害者の地域移行の推進を目的に、平成 30 年 4 月から開始した。

##### ア 会議及び研修会

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 6 月 12 日	精神保健福祉連絡調整会議 (1) 「つむぎ診療所について」 報告者：医療法人全和会 つむぎ診療所 医療福祉相談室長 山崎 三和子氏 (2) 「生活支援センターアクセスの取り組みについて」 報告者：医療法人全和会 生活支援センター アクセス 施設長 新井 康代 氏 (3) 意見交換 (4) 情報提供	管内関係 機関等 18 人
令和 2 年 1 月 16 日	精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修 ～医療と保健・福祉の連携～ (1) 精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築に向けて 報告者：障害者福祉推進課 主任 吉田 太郎 氏 (2) 各機関からの取組報告 ア 皆野町の精神保健の実態 報告者：皆野町健康福祉課 主幹 梅津 順子 氏 イ 訪問看護の役割 報告者：医療法人全和会 訪問看護ステーションいと 所長 小林 美佐子 氏	管内関係 機関等 29 人

	ウ 居宅介護の現状 報告者：社会福祉法人皆野町社会福祉協議会 サービス提供責任者 霜田 春美 氏 エ 地域相談支援の現状や相談支援専門員の役割 報告者：医療法人全和会 生活支援センター アクセス 施設長 新井 康代 氏 (3)事例報告 (4)各グループでの意見交換及びまとめ ファシリテーター：精神保健福祉センター 主幹 広沢 昇 氏	
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※ このほか令和2年3月4日に、「気分障害を中心に」（講師：医療法人全和会 つむぎ診療所院長 内田 里華 氏）をテーマとした精神疾患基礎研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

#### イ ピアサポーター育成支援

地域移行に向けた支援を円滑に行うため、平成21年度に当事者による地域移行推進員を養成し、平成21年12月に発足した秩父当事者会「メンバー」の育成支援を、生活支援センターアクセスと協働して行った。

令和元年度

内 容	参加回数	参加者
秩父当事者会メンバー 定例会	9回	延53人

#### ウ ピアサポーター養成講座

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年		
11月13日	「ピアサポーターの役割について」	新規
11月27日	「自分の体験や思いを話してみよう！聞いてみよう！」	実1人
12月4日	「自分の魅力を引き出そう！ ～自分と相手を大切にするためのスキルアップ講座～」	延5人 継続
12月11日	「話を聴くってどんな感じ？ コミュニケーションの豆知識」	実3人
12月25日	「自分にできることってなんだろう！？」	延15人

### (5) ひきこもり対策の実施

#### ア 一般相談

ひきこもり状態の方及びその家族を対象として、精神保健福祉相談員及び保健師による相談を随時行った。個人や家族だけで抱えてきたひきこもりの相談をすることで、家族や当事者のメンタルヘルスが向上していく様子が見られた。

## イ 専門相談

ひきこもり状態の方及びその家族を対象として、公認心理師による相談を行った。ひきこもり状態への対応について助言し、相談者の行動を変えるきっかけになっている。

## ウ 家族ミーティング

ひきこもり状態の方への家族の接し方について、グループワーク形式で実施した。家族の行動が少しずつ変化する中で、家族間のコミュニケーションが改善し、家族自身のメンタルヘルスの向上と当事者の行動の変化が見られるようになった。

令和元年度

一般相談（延人数）			専門相談		家族ミーティング	
訪問	電話	面接	実施回数	延人数	実施回数	延人数
1人	60人	48人	6回	13人	5回	16人

## エ 講演会等

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和2年 2月14日	ひきこもり講演会 テーマ：～当事者と家族が語る理解と対応の道しるべ～ 講師：マロウドの会 2人、まどべ倶楽部 1人	管内関係 機関等 27人

## (6) 家族会の育成

### 秩父郡市精神保健福祉会（心和会）

家族同士の交流を図るとともに、精神障害者への理解を深めるため、昭和49年に精神障害者の家族を中心に設立された。平成2年には心和会が運営主体となって作業所を設立し、平成18年にNPO法人に委譲した。現在は家族会の基本的な機能である「分かち合い」「学びあい」を中心に活動しており、当所ではそのための支援を行っている。令和元年度は、総会及び拡大役員会に各1回出席した。

## (7) 措置入院者退院後支援事業

措置入院者が、退院後に必要な医療等の支援を継続的かつ確実に受けられるようにすることで、措置入院者の社会復帰の促進等を図ることを目的に、平成30年4月1日から施行された。

### ア 埼玉県精神障害者支援地域協議会（代表者会議）

地域における措置入院の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討することを目的に、当所では、措置入院者支援会議として開催した。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 10月8日	(1)措置入院者退院後支援事業における埼玉県内の取り組み 状況 (2)埼玉県における措置入院10年間の推移 (3)秩父地域における措置入院及び退院後支援の状況	管内関係 機関  21人

#### イ 埼玉県精神障害者支援地域協議会（調整会議）

措置入院者の退院後について、医療その他の関係者と退院後の支援計画を協議し、また、支援の実施に係る連絡調整を行うことを目的としている。

令和元年度

支援対象者	回 数	参加者
7人	7回	延43人

### （8）他機関との連携

#### ア 事例検討会・業務連絡会等

管内関係機関の求めに応じて、保健、障害福祉等に関わる会議、事例検討会に20回出席した。

#### イ 自立支援協議会

秩父郡市で暮らす障害児・者のよりよい生活を目的にした秩父地域自立支援協議会に参加している。令和元年度は「相談支援連絡会議」に10回、「運営会議」に6回、「全体会」に2回、「そだてる部会」に3回出席した。

また、平成28年度から秩父地域障害者差別解消支援地域協議会も併せて実施され、代表者会議に2回、実務者会議に2回出席した。

#### ウ 認知症疾患医療連携協議会

ちちぶ圏域認知症初期集中支援チーム検討委員会へ、委員として1回出席した。

### （9）自殺対策

#### ア 自死遺族のつどい

平成24年度から、自死遺族の支援として、身近な地域で安心して語り合える場を提供している。ファシリテーターは、NPO法人全国自死遺族総合支援センターの当事者に依頼している。また、平成30年度から自主的なつどいも開催している。

## 令和元年度

実施年月日 *は自主的なつどい実施日	参加者
令和元年 6月 14日	1人
令和元年 9月 10日 *	2人
令和元年 11月 8日	4人
令和元年 1月 21日 *	2人

※ 令和2年3月13日も実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

## イ 講演会

平成21年度から自殺予防に関する普及啓発を目的に実行委員会として行ってきたが、平成24年度から「ちちぶ定住自立圏事業」として位置付けられ、当所は委員として参加している。

## 令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 11月16日	秩父地域自殺予防フォーラム テーマ：「自殺の少ない地域から学ぶ生きやすさのヒント ～フィンランドに学ぶ7つの原則～」 講師：みどりの杜クリニック院長 森川 すいめい 氏	350人

## ウ 自殺対策連絡会議・研修会

平成20年度から各市町の自殺対策担当者を対象に、有効な自殺予防対策の実施を目的として始まった。平成24年度から、ちちぶ定住自立圏事業「秩父地域自殺予防対策連絡会」として再編された。また、平成27年度からは、本連絡会の中から秩父市セルフコミュニティ自殺予防対策委員会の委員が選任されることとなり、当所は当該委員を兼ねて本連絡会に参加している。

令和元年度は、令和2年3月8日に開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

## 5 感染症対策

感染症の発生予防及びその蔓延防止を目的として、感染症に迅速かつ的確に対応できるよう対策を実施した。

### (1) 施設等への感染症集団発生対応

感染症の発生及び原因を明らかにするため、調査や保健指導等を実施した。

令和元年度件数	5 件
---------	-----

### (2) 感染症（結核を除く）の発生の状況

令和元年度

疾患名	分類	発生件数
E型肝炎	四類	4
レジオネラ症	四類	2
アメーバ下痢	五類	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	五類	1
後天性免疫不全症候群	五類	1
百日咳	五類	6

### (3) 感染症発生動向調査事業について

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の患者発生状況、病原体の検索など流行の実態を早期かつ的確に把握するために行っている。

### (4) 感染症担当者連絡調整会議

感染症対策に関する情報交換を目的に、管内市町感染症担当者との会議を実施した。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 6月18日	(1) 新型インフルエンザ等対策の体制整備について 「新型インフルエンザ等住民接種計画について」 説明者：保健医療政策課 感染症・新型インフルエンザ対策担当 渡邊 千鶴子 氏  (2) 管内の感染症発生について  (3) 麻疹・風しん対策について	市町・ 保健所 12人

(5) 感染症に関する研修・訓練

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 11月8日	新型インフルエンザ等情報伝達訓練 ・メールによる伝達訓練	5 医療機関
令和元年 11月11日	新型インフルエンザ等専用外来患者搬送対応訓練 ・陰圧テントの設置と運用検討 ・患者対応手順や動線、連絡調整の確認 ・搬送車両での患者搬送手順の確認 ・反省会	新型インフ ルエンザ等 専用外来医 療機関・行政 機関 35人
令和2年 3月4日	新型コロナウイルス感染症対策研修会 (秩父福祉事務所との合同開催)  (1)新型コロナウイルス感染症に関する福祉施設向け行政 情報について 説明者：秩父福祉事務所 介護保険・施設整備担当職員  (2)施設における新型コロナウイルスの感染予防対策につ いて 説明者：秩父保健所長 関井 秀明	福祉施設職 員 40名

(6) 性感染症等に関する検査及び相談の実施

性感染症等の相談は随時行い、H I V 検査及び梅毒、B型肝炎、C型肝炎、クラミジアの検査を、夜間を含めて毎月2回実施した。

令和元年度（単位：人）

性感染症等相談		性感染症等検査				
電話	来所	H I V	梅毒	B型肝炎	C型肝炎	クラミジア
70	68	39	39	35	35	37

(7) 肝炎治療特別促進事業の実施

C型肝炎ウイルスの根治を目的として行うインターフェロン治療及びインターフェロンフリー並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療で、保険診療を受けた際の自己負担分の医療費等の一部を公費負担することにより、早期治療を促進し肝硬変・肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図っている。

令和元年度

C型肝炎インターフェロンフリー治療受給者（再治療を含む）	24人
B型肝炎核酸アナログ製剤治療受給者（更新を含む）	76人
B型・C型肝炎インターフェロン治療受給者（2回目を含む）	0人



## 6 結核対策

結核新規登録患者・登録者数ともに、減少傾向にある。発生時の調査及び相談、服薬中の服薬支援、服薬終了後の経過観察などにより、予防対策を実施している。

### (1) 結核登録者数の推移

(単位：人)

年次	平成 22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年
登録者数	41	41	42	37	33	23	28	20	14	14
新登録者数	13	15	20	10	20	17	13	8	8	11

注) 登録者数：各年12月31日現在

新登録者数：各年1月1日から12月31日（令和元年は、平成31年1月1日から令和元年12月31日）までの新規登録者（平成28年よりLTBI・転症除外者は除く）

### (2) 新規登録者（市町別・活動性分類）

令和元年中（単位：人）

分 類		秩父市	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町	計
活動性結核	肺結核塗抹陽性	1	1	-	-	1	3
	その他の菌陽性	3	-	-	-	-	3
	菌陰性・その他	1	-	-	-	-	1
	肺外結核	1	-	1	-	2	4
総 計		6	1	1	-	3	11
別 掲	潜在性結核感染症	1	-	-	-	2	3

### (3) 新規登録者（年齢階級別）

令和元年中（単位：人）

	0~9 歳	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	100 歳~	計
活動性結核	-	-	-	-	1	-	3	2	3	2	-	11
潜在性結核感染症	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	3

### (4) 感染症診査協議会

感染症法第18条による就業制限及び第19条による入院勧告、第20条による入院期間の延長、並びに第37条の2による結核医療について審査を行うため、委員3人を委嘱し開催している。

令和元年度

開催回数	諮問件数	内 訳 (件)		
		就 業 制 限 (法18条)	入 院 勧 告 (法19、20条)	公 費 負 担 (法37条の2)
15	41	4	14	23

(5) 管理検診・接触者健康診断の実施

結核登録者で、医学的状況を把握する必要がある者の管理検診と、患者の家族及び接触者に対しての接触者健康診断を実施することで、結核の早期発見・早期治療を図った。

ア 管理検診結果

令和元年度（単位：人）

対象者 実人数	受診者 延人数	延内訳		結果
		委託医療機関受診	その他の自己健診	
10	12	0	12	再発者なし

イ 接触者健康診断結果

令和元年度（単位：人）

対象者 実人数	受診者 延人数	延内訳			結果
		保健所	委託医療機関受診	その他の自己健診	
103	103	IGRA 検査	胸部レントゲン	胸部レントゲン	異常なし 102 結核発病恐れ、 要治療者 1
		95	7	1	

(6) 訪問指導・来所相談及び電話相談の実施

結核対策の個別指導として、患者及び家族等への訪問指導及び来所相談、電話相談を随時行った。

また、平成 17 年度からは埼玉県版DOTS（服薬確認を軸とした患者支援）事業が開始され、すべての新規登録患者への服薬支援を行うとともに、治療完了率の向上に努めている。

令和元年度（単位：人）

相 談		訪 問 指 導			
電 話	来 所	実人数		延人数	
延人数	延人数	11	(再掲) DOTS	61	(再掲) DOTS
			164		33

## 7 難病対策

指定難病等及び小児慢性特定疾病の診療に係る費用を公費で負担することにより、当該疾患の治療を推進し、医療の確立と普及を促進するとともに、患者とその家族の負担軽減を図ることを目的として実施している。

### (1) 指定難病の医療給付

国が指定する指定難病及び県が指定する特定疾患に罹患し、認定基準に合致し、原則として治療を必要とする者に医療給付をしている。

[受給者数合計 709 人]

令和元年度末現在 (単位: 人)

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
01	球脊髄性筋萎縮症	1	24	亜急性硬化性全脳炎	-
02	筋萎縮性側索硬化症	11	25	進行性多巣性白質脳症	-
03	脊髄性筋萎縮症	-	26	HTLV-1 関連脊髄症	1
04	原発性側索硬化症	1	27	特発性基底核石灰化症	-
05	進行性核上性麻痺	5	28	全身性アミロイドーシス	-
06	パーキンソン病	65	29	ウルリッヒ病	-
07	大脳皮質基底核変性症	-	30	遠位性ミオパチー	-
08	ハンチントン病	1	31	ベスレムミオパチー	-
09	神経有棘赤血球症	-	32	自己食空胞性ミオパチー	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	33	シュワルツ・ヤンペル症候群	-
11	重症筋無力症	28	34	神経線維腫症	1
12	先天性筋無力症候群	-	35	天疱瘡	4
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	19	36	表皮水疱症	-
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	2	37	膿疱性乾癬 (汎発型)	1
15	封入体筋炎	1	38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	-
16	クロウ・深瀬症候群	-	39	中毒性表皮壊死症	-
17	多系統萎縮症	13	40	高安動脈炎	4
18	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を除く。)	17	41	巨細胞性動脈炎	1
19	ライソゾーム病	2	42	結節性多発動脈炎	1
20	副腎白質ジストロフィー	-	43	顕微鏡的多発血管炎	9
21	ミトコンドリア病	2	44	多発血管炎性肉芽腫症	1
22	もやもや病	18	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1
23	プリオン病	1	46	悪性関節リウマチ	3

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
47	バージャー病	-	79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	-
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	-	80	甲状腺ホルモン不応症	-
49	全身性エリテマトーデス	69	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	17	82	先天性副腎低形成症	-
51	全身性強皮症	34	83	アジソン病	-
52	混合性結合組織病	8	84	サルコイドーシス	26
53	シェーグレン症候群	7	85	特発性間質性肺炎	10
54	成人スチル病	1	86	肺動脈性肺高血圧症	3
55	再発性多発軟骨炎	2	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
56	ベーチェット病	15	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5
57	特発性拡張型心筋症	10	89	リンパ脈管筋腫症	2
58	肥大型心筋症	-	90	網膜色素変性症	14
59	拘束型心筋症	-	91	バッド・キアリ症候群	-
60	再生不良性貧血	6	92	特発性門脈圧亢進症	1
61	自己免疫性溶血性貧血	2	93	原発性胆汁性胆管炎	45
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	94	原発性硬化性胆管炎	-
63	特発性血小板減少性紫斑病	18	95	自己免疫性肝炎	7
64	血栓性血小板減少性紫斑病	-	96	クローン病	30
65	原発性免疫不全症候群	3	97	潰瘍性大腸炎	74
66	IgA 腎症	2	98	好酸球性消化管疾患	-
67	多発性嚢胞腎	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
68	黄色靭帯骨化症	3	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
69	後縦靭帯骨化症	16	101	腸管神経節細胞僅少症	-
70	広範脊柱管狭窄症	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
71	特発性大腿骨頭壊死症	15	103	CFC 症候群	-
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	1	104	コステロ症候群	-
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	-	105	チャージ症候群	-
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	-	106	クリオピリン関連周期熱症候群	-
75	クッシング病	-	107	若年性特発性関節炎	-
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-	108	TNF 受容体関連周期性症候群	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	109	非典型溶血性尿毒症症候群	-
78	下垂体性前葉機能低下症	1	110	ブラウ症候群	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
111	先天性ミオパチー	1	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-	144	レノックス・ガストー症候群	-
113	筋ジストロフィー	4	145	ウエスト症候群	-
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-	146	大田原症候群	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	-	147	早期ミオクロニー脳症	-
116	アトピー性脊髄炎	-	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-
117	脊髄空洞症	-	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-
118	脊髄髄膜瘤	-	150	環状 20 番染色体症候群	-
119	アイザックス症候群	-	151	ラスムッセン脳炎	-
120	遺伝性ジストニア	-	152	P C D H 19 関連症候群	-
121	神経フェリチン症	-	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-
122	脳表ヘモジデリン沈着症	-	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	-	155	ランドウ・クレフナー症候群	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	-	156	レット症候群	-
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-	157	スタージ・ウェーバー症候群	-
126	ペリー症候群	-	158	結節性硬化症	-
127	前頭側頭葉変性症	-	159	色素性乾皮症	-
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	-	160	先天性魚鱗癬	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	-	161	家族性良性慢性天疱瘡	-
130	先天性無痛無汗症	-	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	-
131	アレキサンダー病	-	163	特発性後天性全身性無汗症	-
132	先天性核上性球麻痺	-	164	眼皮膚白皮症	-
133	メビウス症候群	-	165	肥厚性皮膚骨膜炎	-
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	-	166	弾性線維性仮性黄色腫	-
135	アイカルディ症候群	-	167	マルファン症候群	-
136	片側巨脳症	-	168	エーラス・ダンロス症候群	-
137	限局性皮膚異形成	-	169	メンケス病	-
138	神経細胞移動異常症	-	170	オクシピタル・ホーン症候群	-
139	先天性大脳白質形成不全症	-	171	ウィルソン病	-
140	ドラベ症候群	-	172	低ホスファターゼ症	-
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-	173	V A T E R 症候群	-
142	ミオクロニー欠伸てんかん	-	174	那須・ハコラ病	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
175	ウィーバー症候群	-	209	完全大血管転位症	-
176	コフィン・ローリー症候群	-	210	単心室症	-
177	ジュベール症候群関連疾患	-	211	左心低形成症候群	-
178	モワット・ウィルソン症候群	-	212	三尖弁閉鎖症	-
179	ウィリアムズ症候群	-	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
180	A T R - X 症候群	-	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-
181	クルーズン症候群	-	215	ファロー四徴症	-
182	アペール症候群	-	216	両大血管右室起始症	-
183	ファイファー症候群	-	217	エプスタイン病	-
184	アントレー・ビクスラー症候群	-	218	アルポート症候群	-
185	コフィン・シリス症候群	-	219	ギャロウェイ・モワット症候群	-
186	ロスムンド・トムソン症候群	-	220	急速進行性糸球体腎炎	-
187	歌舞伎症候群	-	221	抗糸球体基底膜腎炎	-
188	多脾症候群	-	222	一次性ネフローゼ症候群	9
189	無脾症候群	-	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-
190	鰓耳腎症候群	-	224	紫斑病性腎炎	-
191	ウェルナー症候群	-	225	先天性腎性尿崩症	-
192	コケイン症候群	-	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	-
193	プラダー・ウィリ症候群	-	227	オスラー病	-
194	ソトス症候群	-	228	閉塞性細気管支炎	-
195	スーナン症候群	-	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
196	ヤング・シンプソン症候群	-	230	肺胞低換気症候群	-
197	1 p 36 欠失症候群	-	231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	-
198	4 p 欠失症候群	-	232	カーニー複合	-
199	5 p 欠失症候群	-	233	ウォルフラム症候群	-
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	-	234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	-
201	アンジェルマン症候群	-	235	副甲状腺機能低下症	-
202	スミス・マギニス症候群	-	236	偽性副甲状腺機能低下症	-
203	22 q 11.2 欠失症候群	-	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-
204	エマヌエル症候群	-	238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	-
205	脆弱X症候群関連疾患	-	239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	-
206	脆弱X症候群	-	240	フェニルケトン尿症	-
207	総動脈幹遺残症	-	241	高チロシン血症1型	-
208	修正大血管転位症	-	242	高チロシン血症2型	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
243	高チロシン血症3型	-	275	タナトフォリック骨異形成症	-
244	メープルシロップ尿症	-	276	軟骨無形成症	-
245	プロピオン酸血症	-	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	-
246	メチルマロン酸血症	-	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	-
247	イソ吉草酸血症	-	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	-
248	グルコーストランスポーター1欠損症	-	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	-
249	グルタル酸血症1型	-	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	-
250	グルタル酸血症2型	-	282	先天性赤血球形成異常性貧血	-
251	尿素サイクル異常症	-	283	後天性赤芽球癆	2
252	リジン尿性蛋白不耐症	-	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
253	先天性葉酸吸収不全	-	285	ファンコニ貧血	-
254	ポルフィリン症	-	286	遺伝性鉄芽球性貧血	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-	287	エプスタイン症候群	-
256	筋型糖原病	-	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-
257	肝型糖原病	-	289	クロンカイト・カナダ症候群	-
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	-
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	-	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	-
260	シトステロール血症	-	292	総排泄腔外反症	-
261	タンジール病	-	293	総排泄腔遺残	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-	294	先天性横隔膜ヘルニア	-
263	脳髄黄色腫症	-	295	乳幼児肝巨大血管腫	-
264	無βリポタンパク血症	-	296	胆道閉鎖症	1
265	脂肪萎縮症	-	297	アラジール症候群	-
266	家族性地中海熱	-	298	遺伝性膵炎	-
267	高IgD症候群	-	299	嚢胞性線維症	-
268	中條・西村症候群	-	300	IgG4関連疾患	1
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	-	301	黄斑ジストロフィー	-
270	慢性再発性多発性骨髄炎	-	302	レーベル遺伝性視神経症	1
271	強直性脊椎炎	2	303	アッシャー症候群	-
272	進行性骨化性線維異形成症	-	304	若年発症型両側性感音難聴	-
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-	305	遅発性内リンパ水腫	-
274	骨形成不全症	-	306	好酸球性副鼻腔炎	1

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
307	カナバン病	-	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	-
308	進行性白質脳症	-	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	-
309	進行性ミオクローヌステんかん	-	05	◇スモン	1
310	先天異常症候群	-	18	◇難治性肝炎のうち劇症肝炎	-
311	先天性三尖弁狭窄症	-	32	◇重症急性膵炎	-
312	先天性僧帽弁狭窄症	-	38	◇プリオン病（ト由来乾燥硬膜移植によるクワイフェル・ヤコブ病に限る。）	-
313	先天性肺静脈狭窄症	-	995	◎溶血性貧血	-
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-	996	◎橋本病	-
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B 関連腎症	-	997	◎特発性好酸球増多症候群	-
316	カルニチン回路異常症	-	998	◎原発性慢性骨髄線維症	3
317	三頭酵素欠損症	-			
318	シトリン欠損症	1			
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	-			
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	-			
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-			
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	-			
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-			
324	メチルグルタコン酸尿症	-			
325	遺伝性自己炎症疾患	-			
326	大理石骨病	-			
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	-			
328	前眼部形成異常	-			
329	無虹彩症	-			
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	-			
331	特発性多中心性キャッスルマン病	2			

◇特定疾患 ◎県単独疾患

- 注) 1 難病の患者に対する医療等に関する法律として平成 27 年 1 月 1 日から施行  
2 196 疾病（111～306）は平成 27 年 7 月 1 日から適用  
3 24 疾病（307～330）は平成 29 年 4 月 1 日から適用  
4 1 疾病（331）は平成 30 年 4 月 1 日から適用  
5 2 疾病（332～333）は令和元年 7 月 1 日から適用



## (2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

児童福祉法第19条の2に基づき、児童等の慢性疾病のうち国が指定した疾病（小児慢性特定疾病）の医療にかかる費用の一部を助成し、医療費の負担軽減を図る。

[受給者合計 84人]

令和元年度末現在（単位：人）

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
01	悪性新生物	11	09	血液疾患	2
02	慢性腎疾患	5	10	免疫疾患	-
03	慢性呼吸器疾患	4	11	神経・筋疾患	12
04	慢性心疾患	15	12	慢性消化器疾患	5
05	内分泌疾患	12	13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2
06	膠原病	-	14	皮膚疾患	-
07	糖尿病	13	15	骨系統疾患	-
08	先天性代謝異常	2	16	脈管系疾患	1

## (3) 先天性血液凝固因子欠乏症医療の給付

先天性血液凝固因子欠乏症等により患し、認定基準に合致し、原則として治療を必要とする者に医療給付をしている。

[受給者合計 9人]

令和元年度末現在（単位：人）

疾病番号	990000～990010	受給者	9
------	---------------	-----	---

## (4) 相談指導の実施

難病患者及び家族に対して、申請時等の面接を中心にした相談指導や訪問指導、電話相談を随時行った。

令和元年度

	訪問指導 (実人数)	面接相談		(再掲) 面接の延相談主訴 (件数)									電話相談 (件数)
				申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就労	就学	食事・栄養	歯科	その他	
		(実人数)	(延件数)										
指定難病	19	734	986	910	369	42	75	18	1	25	17	108	135
小児慢性	7	96	101	81	30	26	24	0	5	5	0	0	35

## (5) 難病相談事業の実施

難病患者とその家族の療養支援を目的に、交流会や自助グループ支援等を実施している。平成24年度からは、災害時における難病患者支援に取り組み、関係者に対して連絡会等を開催している。また、平成28年度から、難病患者やその家族の相談等に従事する関係機関職員の資質向上を図るため、在宅難病患者支援従事者研修会を実施している。

### ア 長期療養児教室の開催

小児慢性特定疾病児童等を受け入れる関係機関の支援者に対する研修会と、慢性疾患児とその保護者を対象とした交流会を実施した。

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 8月29日	『慢性疾患のお子様をお持ちの保護者の集い』 音楽会 演奏者：ボランティア団体「ながとろプレーメン」	保護者と 児、保育士 他 33人
令和元年 11月22日	「医療ケア児支援従事者研修会」 テーマ：在宅療養児への支援現場から見えてくる地域の 実状と課題～実症例を中心にみんなと考える～ (1)在宅医療ケアの実践と求められるケア 講師：秩父訪問看護ステーション 所長 宍戸 美智代 氏 (2)特別支援学校での遊びを通じた関わりと取組 講師：秩父特別支援学校教諭 屋代 しおみ 氏 (3)意見交換	指定事業 所、保育所、 特別支援学 校市町職員 他 13人

### イ 難病患者交流会

令和元年度

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
令和元年 6月18日 (秩父保健所)	ALS患者と家族の集い ～おしゃべり交流会～ アドバイザー：日本ALS協会埼玉支部 佐藤 順子 氏	管内在住の ALS患者・家 族 3人
令和元年 9月7日 (上里町男女共同 参画推進センター)	ALS協会北部ブロック交流会 (日本ALS協会埼玉県支部、県北部ブロック保健所との 共催) (1)講話：「コミュニケーション機器を使う前に知ってお きたい事」 講師：埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション工学科 河合 俊宏 氏 (2)交流会 患者の参加者を中心に自己紹介や情報交換	ALS患者と 家族、ALS協 会、関係機関 職員等 35人

## ウ 自助グループ活動支援

### ◆花みずき会

平成 17 年 6 月から膠原病の地区患者会として自主活動を行っており、令和元年度は 6 回（4 月・5 月・7 月・9 月・11 月・1 月）、会場提供・材料の貸し出し・活動の P R・運営の相談等の支援を行った。

## エ 在宅難病患者支援従事者研修会

令和元年度

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
令和元年 12 月 5 日 (熊谷保健所)	<p>&lt;県北部ブロック保健所合同開催&gt;</p> <p>(1) 講話：「難病対策の概要」 講師：熊谷保健所 保健予防推進担当職員</p> <p>(2) 講演：「神経難病の病態と治療」 講師：埼玉県総合リハビリテーションセンター 副センター長 市川 忠 氏</p>	熊谷・本庄・秩父保健所管内関係機関職員 38 人
令和 2 年 1 月 31 日 (秩父保健所)	<p>(1) 講義：「筋萎縮性側索硬化症（ALS）～病気と治療～」 講師：秩父第一病院 副院長兼在宅診療部長 大久保 毅 氏</p> <p>(2) 講義：「在宅神経難病患者の災害時支援について ～事例を通して災害時に必要な備えについて考える～」 講師：埼玉県難病医療連絡協議会 難病診療連携コーディネーター 中根 文江 氏</p>	管内市町保健福祉・防災担当等関係機関職員 19 人

## (6) 秩父保健医療圏（秩父保健所所管区域）難病対策地域協議会

難病法第 32 条に基づき、関係機関等が相互の連絡を図り難病患者への支援体制に関する課題について情報共有し強化を図るために、平成 29 年度から設置されている。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和 2 年 1 月 31 日	<p>(1) 秩父保健医療圏における難病対策事業報告</p> <p>(2) 秩父保健所管内の災害対策への取り組み状況</p> <p>(3) 「災害時個別支援計画作成マニュアル」の作成について</p>	委員 8 人

## 8 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づき、広島、長崎において被爆した者に原子爆弾被爆者健康手帳を交付し、手帳所持者には、必要な医療費を給付している。

令和元年度

原子爆弾被爆者等健康手帳所持者数	6人
------------------	----

## 9 保健師人材育成

保健師の現任教育体制の整備・充実を図るため、県・市町村保健師連絡調整会議地域別会議を開催し、管内の課題を共有し現任教育計画を作成した。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和元年 6月5日	県・市町村保健師連絡調整会議地域別会議 (1)各所属における保健師現任教育の現状と課題について (2)管内における平成30年度保健師現任教育計画について	9人

管内には、市町及び保健所保健師を会員とする「秩父地域保健師会」が平成29年度に発足した。また、昭和38年度から活動を継続している「秩父保健師業務研究会」は、本会の発足に伴い、部会に位置づけられた。

「秩父地域保健師会」の令和元年度の主な活動としては、保健師の資質の向上を目的とした研修会と、保健師活動指針策定のためにワーキンググループでの検討会を開催し、策定に向けた活動を実施した。

## 10 秩父地区地域看護推進会議

平成26年度までは、北部3保健所輪番で年1回開催してきた「北部地区地域看護推進会議」を、平成27年度から各保健所で開催することになった。当所では、管内病院の看護部長相当職及び保健所・市町の統括的立場にある保健師間の連携を目的に、会議を開催している。

令和元年度

実施年月日	内 容	参加者
令和2年 2月21日	(1)感染症に関する情報提供 ア 新型コロナウイルスへの対応等について イ 2020東京オリンピック・パラリンピックに係る感染症対策 (2)感染症予防対策について	19人